

会報

通常総会議事報告

一般社団法人溶接学会 第83回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成27年4月23日(木)10:00～11:30

場所 学術総合センター 一橋記念講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-1

平成26年度事業報告

(平成26年3月1日から平成27年2月28日まで)

平成26年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第4条1項)

1.1 春季全国大会

平成26年4月22日～24日：東京ビッグサイト（東京）
研究発表講演（107件）、特別講演（1件）、シンポジウム（講演6件）、フォーラム（講演5件）

参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成26年9月10日～12日：黒部市宇奈月国際会館（富山）
研究発表講演（202件）、ポスター発表（40件）、特別講演（1件）、論文賞受賞講演（1件）、フォーラム（講演8件）、ワークショップ（講演2件、実演）

参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第4条1項)

2.1 平成26年度溶接入門講座（第45回）

会期 平成26年6月12日、13日

会場 科学技術館（東京）

受講者 34名

2.2 平成26年度溶接工学夏季大学（第62回）「中堅技術者講座」

会期 平成26年7月30日～8月1日

会場 大阪大学大学院工学研究科 岡田メモリアルホール

受講者 52名

2.3 平成26年度溶接工学専門講座（第1回）

溶接冶金研究委員会と溶接教育委員会の共同開催

「ものづくり力伝承講座～鉄鋼材料溶接部の組織を知る～」

会期 平成26年10月31日

会場 フォーラムミカサエコ（東京）

受講者 63名

3. 刊行 (定款第4条3項)

3.1 溶接学会誌83巻2号～84巻1号（8冊）

主な内容 特集、展望、レビュー&トレンド、溶接接合教室、実験指南、他

3.2 溶接学会論文集32巻2号～33巻1号（4冊）(WEB)

主な内容 研究論文31篇

3.3 全国大会講演概要集 第94集および第95集（2冊）

3.4 平成26年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

4. 研究活動 (定款第4条1項)

4.1 研究推進部会（篠崎賢二部会長）

2回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会の活性化を図った。また、学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会システムの活用、研究委員会設置形態の見直し、溶接教育委員会が発案した専門教育講座ならびに研究委員会国際化等に向けた対応などについて検討した。

- (1) 春季全国大会においてフォーラム「スモールスケール接合・加工の現状と今後の展開」を開催した。
- (2) 秋季全国大会においてフォーラム「界面接合、基礎から最先端技術まで」を開催した。
- (3) 溶接冶金研究委員会が中心となり、腐食防食協会との研究交流を継続実施した。
- (4) 溶接工学専門講座「ものづくり力伝承講座～鉄鋼材料溶接部の組織を知る～」を開催した。
- (5) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛めっき割れに関する研究」（中込忠男主査）
活動期限が終了したため、学会からの補助金は終了するが、活動を継続する。
- (6) 特別研究会「異材接合3Dプリンタ」（桐原聡秀主査）
平成26年度より活動を開始した。当該分野に関する講演会などを大阪大学接合科学研究所の研究集会と合同で企画、開催した。
- (7) アドホック研究会「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」を理事会に答申し、平成27年度からの発足が承認された。
- (8) 溶接学会記念基金助成活動
「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会(山本元道主査)
平成26年10月21日（火）～23日（木）に中国、西安にて開催された第4回日中韓ジョイントシンポジウム（4th EAST-WJ）へ講演者派遣を行った。
日本からは北村貴典氏（九州工業大学）、廣畑幹人氏（名古屋大学）、門井浩太氏（広島大学）の3名を若手講演者として派遣した。各分野で活躍中の若手研究者を派遣し、日本での若手研究者による研究情報を発信するとともに、他国の若手研究者・技術者との交流を深め、グローバルネットワーク形成に資する活動を行った。詳細は学会誌84巻2号じょうほう通ページに掲載予定である。

4.2 溶接構造研究委員会（村川英一委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第203回	26.3.14	東京	17	研究報告 5件 (社)日本船舶海洋工学会 材料・溶接研究会と合同
第204回	26.6.9	東京	24	JWV 第10委員会とJWES 鉄鋼部会 FTE 委員会と合同
第205回	26.7.28	大阪	12	研究報告 4件
シンポジウム	26.12.4～5	大阪	163	溶接構造シンポジウム 2014
第206回	26.12.5	大阪	163	溶接構造シンポジウムと併催

4.3 溶接法研究委員会（平田好則委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第226回	26.5.9	東京	45	研究報告 6件
第227回	26.8.4	大阪	55	研究報告 6件
第228回	26.11.19～20	石川	43, 34	研究報告 5件 見学会
第229回	27.1.27～28	東京	66, 75	研究報告 12件

4.4 溶接冶金研究委員会（廣瀬明夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第215回	26.5.23	大阪	27	研究報告 6件
第216回	26.9.2~3	北海道	31, 30	研究報告 2件 見学会
第217回	26.10.30	東京	27	研究報告 5件
第218回	27.1.27~28	東京	66, 75	研究報告 12件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（大沢直樹委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第241回	26.4.14	東京	22	研究報告 4件
第242回	26.6.27	東京	22	研究報告 4件
第243回	26.11.6	福井	15	研究報告 1件 見学会
第244回	27.1.23	東京	22	研究報告 3件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（片山聖二委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第76回	26.6.3	東京	28	研究報告 6件
第77回	26.10.7	福井	27	研究報告 3件 見学会
第78回	27.2.3	東京	19	研究報告 6件

4.7 軽構造接合加工研究委員会（及川初彦委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第105回	26.6.4	東京	30	研究報告 6件
第106回	26.9.17	福井	25	研究報告 2件 見学会
第107回	26.11.18	大阪	31	研究報告 6件
第108回	27.1.20	東京	31	研究報告 6件

4.8 マイクロ接合研究委員会（廣瀬明夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第106回	26.4.23	東京	26	春季フォーラムと併催 研究報告 5件
第107回	26.7.4	大阪	26	研究報告 6件
第108回	26.11.17	東京	58	ワークショップと併催 研究報告 7件
第109回	27.2.23~24	富山	28, 21	研究報告 1件 見学会
シンポジウム	27.2.3~4	横浜	560	Matc2015 シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会（高橋康夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第96回	26.6.5	東京	32	研究報告 5件
第97回	26.10.31	東京	37	研究報告 6件
第98回	27.1.23	東京	27	研究報告 5件

5. 国内活動（定款4条項4）

5.1 日本溶接会議(JIW)の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他（承認順）

日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、軽金属溶接協会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会の活動に協力した。

- (1) 協賛：（一財）日本船舶技術研究協会「船舶建造工程の技術革新に関する技術セミナー」（H26.3.12）
- (2) 協賛：（一社）日本鉄鋼協会「第217・218西山記念技術講座」（H26.6.6&6.16）
- (3) 協賛：（公社）日本材料学会「第32回疲労シンポジウム」（H26.11.6-8）
- (4) 協賛：（一社）日本能率協会「ものづくりNEXT2014」（H26.11.12-14）
- (5) 協賛：（一社）日本塑性加工学会「第65回塑性加工連合講演会」（H26.10.11-13）
- (6) 協賛：（一社）粉体粉末冶金協会「金属粉末の積層造形技術セミナー」（H26.6.2）
- (7) 後援：（一社）日本溶接協会「原子力発電設備の新時代の維持管理に係るシンポジウム」（H26.6.27）
- (8) 協賛：（公社）自動車技術会「第12回全日本学生フォーミュラ大会」（H26.9.2-6）
- (9) 後援：（一社）全国鉄筋溶接継手工法協会「建築・土木構造物の安全・安心を支える工法協会の役割と使命」（H26.6.4）
- (10) 共催：日本学術会議材料工学委員会「第58回材料工学連合講演会」（H26.10.27-28）（共催分担金101万円）
- (11) 協賛：日本学術会議「第4回材料工学委員会シンポジウム」（H26.4.25）
- (12) 協賛：（一社）日本機械学会「機械の日・機械週間」記念行事（H26.8.7）
- (13) 協賛：（一社）日本機械学会「第12回技術者のための技術者倫理セミナー」（H26.5.17）
- (14) 協賛：日本保全学会「第11回学術講演会」（H26.7.23-25）
- (15) 協賛：（一社）日本高圧力技術協会「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」

- (16) 協賛：（公社）日本材料学会「第44回初心者のための有限要素法講習会」（H26.7.28-29,H26.8.27-28）
- (17) 協賛：（公社）日本材料学会「第11回材料の衝撃問題シンポジウム」（H26.11.29-30）
- (18) 協賛：（公社）日本材料学会「第13回フラクトグラフィシンポジウム」（H26.11.14）
- (19) 後援：（一財）燕三条地場産業振興センター「燕三条ものづくりメッセ2014」（H26.10.1-2）
- (20) 後援：（公財）溶接接合工学振興会「特別講演会」（H26.5.20）
- (21) 後援：（公社）神奈川科学技術アカデミー「平成26年度KAST教育講座」（H26.9.11,18-19,H26.10.2-3）
- (22) 協賛：（公社）日本材料学会「第22回初心者のための疲労設計講習会」（H26.9.1-2）
- (23) 協賛：（公社）日本材料学会「第23回初心者のための疲労設計講習会」（H26.9.4-5）
- (24) 協賛：（公社）日本材料学会「第113回原子レベルのシミュレーション講習会」（H26.9.11-12）
- (25) 協賛：（一財）神戸国際観光コンベンション協会「Techno-Ocean2014」（H26.10.2-4）
- (26) 協賛：粉体工学会「ICCCI2015」（H27.7.7-10）
- (27) 協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会関西支部「関西ワークショップ2014」（H26.7.17-18）
- (28) 協賛：（公社）日本材料学会「第52回高温強度シンポジウム」（H26.12.4-5）
- (29) 協賛：（公社）日本材料学会「第4回若手研究者および技術者のための高温強度講習会」（H26.11.6-7）
- (30) 協賛：（一社）日本機械学会「もう一度学ぶ機械材料学」（H26.10.2-3）
- (31) 後援：（一社）軽金属溶接協会「アルミプレージングセミナー」（H26.10.3）
- (32) 協賛：日本保全学会「第2回ICMST国際会議」（H26.11.2-5）
- (33) 協賛：（一社）日本鉄鋼協会「第66回白石記念講座」（H26.10.24）
- (34) 協賛：（一社）日本鉄鋼協会「第219・220回西山記念技術講座」（H26.11.18,H26.11.25）
- (35) 協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会「第24回マイクロエレクトロニクスシンポジウム」（H26.9.4-5）
- (36) 協賛：（公社）日本材料学会「2014年度JCOM若手シンポジウム」（H26.9.1-2）
- (37) 協賛：（一社）日本機械学会「第17回拡大M&Pサロン」（H26.10.10）
- (38) 協賛：（一社）日本工作機械工業会「第16回国際工作機械技術者会議」（H26.10.30-11.4）
- (39) 協賛：（一社）強化プラスチック協会「第59回FRP総合講演会」（H26.10.2-3）
- (40) 協賛：（公社）日本ガスタービン学会「第42回定期講演会」（H26.10.22-23）
- (41) 後援：（公社）日本材料学会「第28回信頼性シンポジウム」（H26.12.11-12）
- (42) 後援：（一社）レーザ加工学会「LAMP2015第7回レーザ先端材料加工国際会議」（H27.5.26-29）
- (43) 後援：（公社）日本ガスタービン学会「IGTC2015 Tokyo」（H26.9.11,15-20）
- (44) 協賛：（一社）日本非破壊検査協会「第22回国際アコースティック・エミッション・シンポジウム」（H26.11.11-14）
- (45) 協賛：（独）科学技術振興機構「研究成果展開事業産学共創基礎基盤研究プログラム公開シンポジウム」（H26.9.25）
- (46) 協賛：（一社）日本高圧力技術協会「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」（H26.11.11-12）
- (47) 協賛：（一社）日本高圧力技術協会「信頼性に基づく減肉評価法」（H26.12.3-4）
- (48) 協賛：（一社）日本高圧力技術協会「国内外の圧力容器規格の動向」（H26.12.11-12）
- (49) 協賛：（一社）日本機械学会「第24回設計工学・システム部門講演会」（H26.9.17-19）
- (50) 協賛：（一社）レーザ加工学会「第82回レーザ加工学会講演会」（H27.1.13-14）
- (51) 協賛：（一社）日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2014」（H26.11.13-14）
- (52) 後援：（公財）溶接接合工学振興会「第25回セミナー」（H26.10.21）
- (53) 協賛：（公社）日本工学会「第25回世界工学会議」（H27.11.29-12.2）
- (54) 協賛：（公社）日本ガスタービン学会「第43回ガスタービンセミナー」（H27.1.22-23）
- (55) 協賛：（一社）日本機械学会「第13回技術者のための技術者倫理セミナー」（H26.11.29）
- (56) 協賛：（公社）日本材料学会「第1回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー」（H26.12.10）
- (57) 後援：（一社）日本溶接協会「原子力プラント機器の健全性評価に関する講習会」（H26.12.11-12）
- (58) 協賛：（公社）日本材料学会「第51回X線材料強度に関する討論会」（H26.12.5）
- (59) 協賛：（一社）日本塑性加工学会「平成27年度塑性加工春季講演会」（H27.5.29-31）
- (60) 協賛：大阪大学接合科学研究所「東京セミナー」（H26.12.10）
- (61) 後援：（公社）神奈川科学技術アカデミー「めっき技術の最先端と新展開」（H26.12.2,9）
- (62) 協賛：（一社）日本高圧力技術協会「第15回エネルギー貯蔵セミナー」（H27.2.13）
- (63) 協賛：（公社）日本アイトープ協会「第52回アイトープ・放射線研究発表会」（H27.7）
- (64) 協賛：（一社）日本溶接協会「二相ステンレス鋼の溶接施工ガイドラインについてのシンポジウム」（H27.3.3）
- (65) 協賛：（公社）精密工学会「第372回講習会」（H27.2.5）
- (66) 協賛：（公社）自動車技術会「No.8-14シンポジウム」（H26.12.12）
- (67) 協賛：（一社）日本非破壊検査協会「第46回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」（H27.1.10）
- (68) 協賛：（一社）軽金属学会「第128回春期大会」（H27.5.16-17）
- (69) 協賛：（一社）日本非破壊検査協会「安全・安心な社会を築く先進材料・非破壊計測技術シンポジウム」（H27.3.16-17）

- (70) 協賛：(一社) 日本溶接協会「LMPシンポジウム2015」(H27.2.23-24)
- (71) 協賛：(一社) エレクトロニクス実装学会「第21回関西支部若手研究セミナー」(H27.1.13)
- (72) 協賛：日本複合材料学会「第6回日本複合材料会議」(H27.3.4-6)
- (73) 協賛：ICSAM2015実行委員会「12th International Conference on Superplasticity in Advanced Materials」(H27.9.7-11)
- (74) 共催：エコデザイン学会連合会「EcoDesign2015」(H27.12.2-3)
- (75) 協賛：(公社) 日本材料学会「第20回分子動力学シンポジウム」(H27.5.22)
- (76) 協賛：(公社) 日本材料学会「第49回X線材料強度に関するシンポジウム」(H27.7.16)
- (77) 協賛：日本保全学会「第15回保全セミナー」(H27.2.4)
- (78) 協賛：(一社) 日本接着学会「第53回日本接着学会年次大会」(H27.6.19-20)
- (79) 協賛：(一社) 日本機械学会「企画講習会：もう一度学ぶ機械材料学」(H27.3.5-6)
- (80) 協賛：(一社) 日本高圧力技術協会「最近の事故に学ぶ強度設計の高度化」(H27.2.27)
- (81) 協賛：(公社) 腐食防食学会「環境-エネルギーフォーラム2015in船橋」(H27.1.17)
- (82) 後援：(一社) 軽金属溶接協会「アルミニウム溶接技術講習会」(H27.3.25-26)
- (83) 協賛：(一社) 日本非破壊検査協会「表面探傷技術による健全性診断シンポジウム」(H27.3.9-10)
- (84) 協賛：(公社) 腐食防食学会「第66回技術セミナー」(H27.4.22)
- (85) 協賛：(一社) エレクトロニクス実装学会「第29回エレクトロニクス実装学会春季講演大会」(H27.3.16-18)
- (86) 協賛：日本顕微鏡学会「第25回電子顕微鏡大学」(H27.6.11-12)
- (87) 協賛：(一社) エレクトロニクス実装学会「ICEP-IAAC 2015」(H27.4.14-17)
- (88) 後援：(公社) 日本鉄筋継手協会「設立50周年記念特別講演」(H27.5.27)

5.3 次の学協会と機関誌を交換し、研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本鋼構造協会	JSSC
軽金属溶接協会	軽金属溶接	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
高圧ガス保安協会	高圧ガス	〃	ふえらむ
電気学会	電気学会誌	〃	ISIJ International
土木学会	土木学会誌	日本溶射協会	溶射
日本機械学会	日本機械学会誌	日本溶接協会	溶接技術
日本金属学会	まてりあ	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌 KANRIN (咸臨)
日本建築学会	建築雑誌	日本接着学会	日本接着学会誌

6. 国際活動(定款4条項4)

6.1 国際溶接学会(IIW)関連

日本溶接会議(JIW)の活動を支援して、国際溶接学会(IIW)の活動および第67回年次大会(韓国・ソウル、7月13日～18日、参加者は44カ国768名)に参加した。

6.2 第4回日中韓ジョイントシンポジウム(EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining)(平成26年10月21日～23日)が西安交通大学(中国)で開催され、参加した。

6.3 アジア溶接連盟(AWF)関連の活動に参加した。

6.4 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Journal	オーストラリア
2 Schweiss-& Pruftechnik	オーストラリア
3 Soldagem & Inspecao	ブラジル
4 Welding and Cutting	ドイツ
5 Hitsaus Tekniikka	フィンランド
6 Rivista Italiana della Salddatura	イタリア
7 大韓金属学会誌(Journal of KMM)	韓国
8 大韓溶接学会誌	〃
9 Lastechniek	オランダ
10 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
11 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
12 Welding & Material Testing	ルーマニア
13 Sudura	〃
14 Revista de Metalurgia	スペイン
15 Svetsaren	スウェーデン
16 Welding International	英国
17 Connect	〃
18 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
19 Zavaranie svarovani	スロバキア
20 地質学報	中国
21 金属学報	〃
22 鋼鉄	〃
23 冶金分析	〃

- 24 China Welding
- 25 Weldpoint

中国
シンガポール

II 会務報告

1. 第82回通常総会

日時 平成26年4月23日(水)
開会 午前10時00分 閉会 午前11時35分
場所 〒135-0063 東京都江東区有明3-21-1
東京ビッグサイト 会議棟6階「607会議室」

議決権を有する者：代議員 95名

出席 25名
委任状 43名
合計 68名(総数95名)

議事

- ① 平成25年度事業報告の件 承認
- ② 平成25年度決算報告の件 承認
- ③ 監査報告 承認
- ④ 平成26・27年度理事・監事選任の件 承認
- ⑤ 会員種別及び入退会等規程改定の件 承認
- ⑥ 平成26年度事業計画の件 報告
- ⑦ 平成26年度予算の件 報告

⑧ 名誉員の推薦

・西本 和俊
⑨ 特別員の推薦
・菅 泰雄 ・高野 元太

⑩ 表彰の件

- 溶接学会業績賞
・佐藤 嘉洋 ・廣瀬 明夫
- 佐々木賞
・飯島 亨 ・上山 智之
- 溶接学会論文賞並びに論文奨励賞
溶接学会論文賞
・本間 祐太、茅野 林造、坂田 幹宏、山下 賢
- 溶接学会論文奨励賞
・生島 一樹 ・田中 陽 ・野村 和史
- 田中亀久人賞
・木坂 有治、後藤 憲一、細田 寛之、箱田 利秀、
木村 文映
- 溶接学術振興賞
・長谷川 正義(東海支部推薦)
- 妹島賞
・宮原 哲也、矢羽々 隆憲、畑 恒久、佐山 満
- 溶接学会ベストオーサー賞
・村田 義明、豊田 剛正、・屋口 正次、・糟谷 正
- 溶接学会技術貢献賞
・上園 敏郎
- 溶接技術奨励賞
北海道支部：大藤 仁志
東北支部：宮野 泰征
東部支部：栗原 繁、中村 照美
東海支部：森岡 達哉
関西支部：佐藤 嘉洋、鷹羽 新二、平本 誠剛
中国支部：山本 元道
九州支部：角毅 四郎
- 溶接技術普及賞
北海道支部：兼平 一行
東北支部：作山 和久
東部支部：坂井 健輔、南 秀幸
東海支部：椿 正己、宮嶋 喜一
四国支部：友近 宏
九州支部：佐藤 桂、福光 教昭
- 溶接学会優秀研究発表賞
平成25年度春季全国大会：小橋 泰三、松岡 修史、
神林 順子、小林 真治
平成25年度秋季全国大会：今泉 拓也、木花 翔吾、

Rittichai PHAONIAM, 瀧澤 圭介,
生島 一樹, 福田 侑也, 鈴木 裕一郎
溶接学会優秀ポスター発表賞

・河隅 海, 清水 早紀, 池庄司 まり子

溶接学会シンポジウム賞

Mate 2014

Mate 2014優秀論文賞

・福田 敦, 山田 隆行, 別芝 範之, 加柴 良裕

Mate 2014研究奨励賞

・小椋 智 ・中山 俊弥

溶接学会奨学賞

東北支部：鶴田 駿

東部支部：池島 康介, 九里 知宏, 中井川 秀敏

東海支部：今井 新, 西河 厚志

関西支部：大野 勇輝, 斧田 俊樹, 阪口 寛幸,

馬場 勇人, 光成 秀樹

中国支部：山下 正太郎

九州支部：梶山 慎治, 松尾 知成

⑩ 溶接学会フェロー認定（入会年順）

真鍋 幸男, 片山 聖二, 古賀 信次, 笹部 誠二,

吉田 憲一, 齋藤 重正

⑪ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受け入れ状況及びその活用状況報告

⑫ 感謝状贈呈

中国支部殿（平成25年度秋季全国大会開催担当）

2. 理事会（定例6回、臨時1回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 平成25年度事業報告・決算

平成25年度事業報告・決算について承認した。また、公益目的支出計画の実施状況についても承認した。

(2) 学会組織運営

①平成26・27年度理事・監事について、第82回通常総会に推薦することを決議した。

②第82回通常総会で承認された理事の中から代表理事 会長、代表理事 副会長を選定した。

③平成26・27年度理事会の業務分担を決議した。

④平成26・27年度の支部長および各業務委員会・研究委員会の委員について承認した。

⑤平成26年度各賞授賞審査委員長を指名し、審査委員会について承認した。

(3) 学会活性化・効率化

①科研費の審査に係る系・分野・分科・細目表等への意見を溶接学会として集約、日本学術振興会へ提出した。

②平成26年度名誉員・特別員を推薦し、各賞受賞者について承認した。

③平成27年度から全国大会講演概要集のWEB化（デジタル化）を開始することについて承認した。

④溶接学会に連載してきた「溶接・接合教室－実践編－」の電子化と溶接情報センターコンテンツへの登録を日本溶接協会に依頼した。

⑤新会員管理システムの導入（平成27年7月予定）に伴い、入退会・会員情報変更手続き、会費納付の新たな方法およびグループ扱い廃止などについて承認した。

(4) 研究委員会活動

①「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会の活動継続を承認した。

②「異材接合3Dプリンタ」特別研究会を平成26年4月から2年間の計画で発足することを承認した。

③「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」アドホック研究会を平成27年度（1年間）発足することを承認した。

④溶接構造シンポジウム2014の開催および溶接学会シンポジウム賞授賞を承認した。

⑤Mate2015シンポジウム開催、「Mate2015の共同開催に関する覚書」および溶接学会シンポジウム賞授賞について承認した。

(5) 国際対応

9th Trends in Welding Research Conference の日本開催に関してAWSより要請があり、溶接学会が共催となり、9WSとの共催として平成28年に日本で開催することを決議した。

(6) 財務強化

①正員および賛助員の減少をリカバーするため理事会、企画委員会、支部長が中心となって「入会勧誘推進活動」を継続実施した。

②消費税増税による学会収支悪化への対応策として、平成27年度年会費の納付から賛助員および正員の年会費を改定することを第82回通常総会議案とすることを決議した。

(7) 平成27年度事業計画・予算

平成27年度事業計画・予算について承認した。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会（廣瀬 明夫委員長）

年度内4回の委員会を開催し、「10年後の学会のあるべき姿－溶接・接合分野の再定義と活動領域の拡充」を目標に、学会の再活性化のために、溶接学会のカバーする溶接・接合分野の再定義に基づいて活動領域の拡充と活動内容の刷新を図るために、以下の活動基盤強化アクションを展開した。

(1) 将来ビジョンWG活動

企画委員会の中に将来ビジョンWGを設置し、10年後の学会のあるべき姿（溶接・接合分野の再定義と活動領域の拡充）を具体的にするために、学会がカバーする研究領域と産業分野の再定義・明確化、会勢分析と活動現況の再確認、日本溶接協会との関係、研究委員会活動、グローバル化、学会名称などについて検討し、企画委員会に答申を行うこととした。H26年度では、現状把握として、溶接学会全国大会での発表内容の変遷、関連の他学協会での会員数の変遷、全国材料系研究室数の変遷、賛助員口数の調査と分析を行った。

(2) 情報化アクション

会員情報の管理の効率化とサービスの向上を可能とする新しい会員管理システム導入を決定した（平成27年7月導入予定）。また、溶接学会誌連載中の「溶接・接合教室－実践編－」の電子化と溶接協会溶接情報センターコンテンツへの登録を行うことを決定した（一般への公開は掲載から3年経過後）。

(3) 研究推進アクション

学会活動領域拡充の一環として、「異材接合3Dプリンタ」特別研究会（桐原主査）を設置して活動を開始した。また、Mate2015（平成27年2月3、4日）を、(社)スマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会と、(社)溶接学会マイクロ接合研究委員会との両主催で開催することとした。学術分野での溶接・接合工学の重要性をアピールするため、科研費の審査に係る系・分野・細目表への溶接・接合工学の追加を日本学術振興会へ要望した。また、第5期科学技術基本計画策定に向けて、材料戦略委員会へ溶接学会としての要望を行うこととした。

(4) 教育関連アクション

本部主催の講習会として、溶接入門講座、溶接工学夏季大学に加えて、溶接工学専門講座を実施することとした。本年度は、第1回として溶接冶金研究委員会が企画した「ものづくり伝承講座～鉄鋼材料溶接部の組織を知る～」を開催し、63名の参加者があり成功であった。

(5) 学会誌出版アクション

平成28年新年号に溶接学会90周年特集として前回75周年からの15年間のあゆみを掲載することとした。

(6) 論文出版アクション

学会論文の魅力化と速報性の向上のため、査読期間を短縮したExpress論文とより速報性の高いWelding Letter（英文）の創設を検討した。また、学会活動の見える化のために、各研究委員会などからの提案による特定分野の特集号の発刊を企画することとした。

(7) 全国大会アクション

全国大会講演の魅力化のために、優秀な口頭発表に対する

Express 論文投稿の特典贈呈を行った。また、平成27年春季全国大会より講演概要をデジタル化することとした。さらに学会活動の見える化のために、研究委員会などからの提案によるオーガナイズドセッションや他学協会との共催によるフォーラムの企画を実施することとした。

- (8) 若手活性化アクション
若手会員の会主催による研究会、見学会、他学会若手組織との合同シンポジウムなどの企画、開催を推進した。
- (9) 国際化アクション
第4回日中韓ジョイントシンポジウム (EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining) (平成26年10月21日～23日) が西安交通大学 (中国) で開催された。第5回は平成27年秋季全国大会 (北海道) と合わせて開催することになった。また、9th Trends in Welding Research Conference の日本開催に関してAWSより要請があり、溶接学会が共催となり、9WS との併催として平成28年に日本で開催することとなった。

3.2 溶接情報化委員会 (南 二三吉委員長)

本会の情報化方針をふまえて、WG 打合せとE-mail持ち回り協議を行い、本会の情報発信に関する以下の活動を実施した。一部は、日本溶接協会 (JWES) 溶接情報センターとの連携で行った。

- (1) 科学技術振興機構の総合学術電子ジャーナルサイト (J-STAGE) でのアーカイブ化コンテンツの公開：本会の会誌、論文集、及び全国大会講演概要を、本会ホームページ (HP) からJ-STAGEにリンクを張って以下のように公開中である。
 - ・学会誌：創刊号～2013年度発行分をJ-STAGEにアップロードして公開している。ただし、発行3年以内の学会誌は会員限定公開で、非会員には非公開である。
 - ・論文集：第1巻(1983年度)～第33巻1号(2015年度)までをJ-STAGEにアップロード済みで、一般公開している。
 - ・講演概要：2003年度秋季大会～2014年度秋季大会までをJ-STAGEにアップロード済みで、一般公開している。
- (2) 溶接接合教室 (基礎を学ぶ) の溶接情報センターでの公開：本会HPから溶接情報センターにリンクを設け、「溶接接合教室 (基礎を学ぶ)」を一般公開している。さらに、「溶接接合教室 (応用編)」も公開することを決定し、まもなく公開が開始される模様である。なお、発行後3年を経過しているかどうかによって、以下のように公開の仕方が異なる。
 - ・発行3年を経過した記事：一般公開
 - ・発行後3年未満の記事：会員限定公開 (ここでいう会員とは、溶接学会員、日本溶接協会団体会員・個人会員)
- (3) 溶接学会便りの発行：会員向けのメール情報として、溶接学会関連の動きならびに最新情報をE-mailで届ける「溶接学会便り」を発行した。年に4回 (3ヶ月毎) の発行予定で、昨年度はNo.1 (創刊号) を7月に、No.2を10月に、No.3を2014年1月に発信した。本年度はNo.4を4月に、No.5を7月に、No.6を10月に、No.7を2015年1月に発信した。
- (4) 研究委員会資料閲覧システム：研究委員会で報告される資料 (コンテンツ) を閲覧できるシステムは、利用委員会が少ないこと、及び今後は学会情報の一元化管理システムの構築を予定していることから、当面の間、閉鎖することとした。
- (5) HP管理：本会HPのトップページの一部改定、および、新着コンテンツの整備とload-upを行った。

3.3 編集委員会 (佐藤 嘉洋委員長)

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB論文集として発行した。溶接学会誌は年8号を刊行し、下記に示す7回の特集と1回のレビュー&トレンドの企画を行った。
「次世代エネルギー産業を支える溶接技術」
「新しいコーティングプロセス」
「固相接合プロセスにおけるキーポイント」
「レーザマイクロ加工—3Dプリンティング(積層造形)を中心に」
「溶接・接合をめぐる最近の動向」

「シェールガス革命を支える材料技術と溶接技術」
「最新シミュレーション技術による溶接力学の最新線」
「レビュー&トレンド：スポット溶接の品質保証技術」

また、溶接接合教室-実践編-を前年度から継続して連載した。溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター113名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実を努めた。また、平成25年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告をVol.83 No.5に掲載した。アンケート結果も考慮して、年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者3件を選考した。

溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム (J-stage) にて発行日から3年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開した。英文誌STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集に引き続き参加した。

3.4 論文査読・審査委員会 (山根 敏委員長)

平成26年6月18日に埼玉大学東京ステーションカレッジおよび平成26年12月12日大阪大学接合科学研究所で全委員が集まる定例委員会を2回開催した。2014年11月開催の大阪大学接合科学研究所主催 (溶接学会共催) の国際会議「Visual-JW2014」の特集号 (45件の論文) の発刊に関する査読方法および論文誌への登載方法が検討され、その内容が承認された。全国大会での推薦された論文を、査読者が査読を引き受けた後、5営業日で査読を行うExpress査読が始まることが確認され、これに対応するために査読手続きが重なっていた部分を簡略化された。これにより、査読委員の負担が減った。また、研究のより迅速な公開および海外への情報発信を行うためのWelding Letterの査読方法などについて検討を行った。

平成18年ウェブ査読開始当初は投稿論文査読期間が著しく短縮されたが、最近は長いものもみられ、平均も少し長くなる傾向がみられるので、改善を行うために、投稿から査読審査結果を得るまでの郵送手続きをすべて廃止し、すべてウェブ上で行えるように査読システムの大幅な改善が行われた。

本年度は、新システムの運用により論文投稿から査読完了して掲載までの期間が平均86日となり、昨年と同様であり、2年前よりも短縮化が図られている。一般論文の論文受付数は42件と、昨年度の35件より7件増加した。Visual-JW2014の特集号には44件の投稿があり、現在、査読を行っている。また、英文誌STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集とSTWJ-JWS collaboration推薦投稿を継続している。

3.5 全国大会運営委員会 (田中 学委員長)

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成26年度春季・秋季全国大会および平成27年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第94集および第95集を編集発行した。
- (3) 平成26年度秋季および平成27年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 平成26年度春季および秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀研究発表賞」、ならびに平成26年度秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀ポスター発表賞」の審査を実施した。
- (5) 優秀な口頭発表に対する「エクスプレス」投稿の無料特典者の推薦制度を平成26年度春季全国大会から開始した。平成26年度春季および秋季全国大会を合わせて9件の推薦を決定した。これに伴い、学会事務局より該当者へ推薦の通知を行うとともに、「エクスプレス」投稿の特典 (1年間有効) を贈呈した。
- (6) 平成27年度春季全国大会から講演概要集のデジタル化を開始するのに伴い、運用・発行等の詳細について検討・準備を行うとともに会誌会告やメールマガジン「溶接学会便りNo.6, No.7」等を通じて学会員への周知を図った。

3.6 溶接教育委員会 (小川 和博委員長)

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成26年度溶接入門講座を1回開催した。(前掲)
- (3) 平成26年度溶接工学夏季大学を1回開催した。(前掲)
- (4) 平成26年度溶接工学専門講座を1回開催した。(前掲)
- (5) IIW 第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情

報を交換した。

- (6) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会 (IIW) 溶接技術者資格制度特認コースの試験が1回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE 9名、IWT 2名、IWS 3名がディプロマ資格を取得した。
- (7) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムのIIW履修ポイントについて、IIW 特認コース WG を通してアナウンスした。
- (8) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会-教育機関(大学・高専・工業高校)の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所の IIW-ATB 活動の支援を行った。その結果、IWE 7名が最終筆記試験に合格し、ディプロマ資格を取得した。

3.7 国際交流委員会 (小関 敏彦委員長)

- (1) 日本溶接会議 (JIW) の活動を通じ、国際溶接学会 (IIW) の活動に参画した。(年次大会: H26/7/13-18, 韓国・プサン, 中間会議: H26/3/30-4/5, ドイツ・ベルリン) 年次大会は44カ国から768人の参加者があり、盛況であった。
- (2) 第4回の日本、中国、韓国3ヶ国ジョイントシンポジウム (EAST-WJ, The 4th East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining) が中国・西安で10/21-23に開催された。

4. 若手会員の会 (門井 浩太委員長)

4.1 若手会員のためのフォーラム

- (1) 春季全国大会イブニングフォーラム
主 題: 溶接・接合部の欠陥評価や品質管理の現状
講 演: 新村 直人氏 (株式会社ニチゾウテック),
藤田 善宏 (株式会社東芝),
山口 雄一氏 (株式会社 IHI)
日 時: 平成26年4月23日 (水) 17:00~18:55
場 所: 東京ビッグサイト 会議棟 6階 609会議室 (春季全国大会開催会場)
参加者: 53名
- (2) 秋季全国大会ポスターセッション運営協力
日 時: 平成26年9月11日 (木)
場 所: 黒部市宇奈月国際会館「セレネ」5階ロビー (秋季全国大会開催会場)
発表件数: 40件 (ポスター発表のみ: 17件)
参加者: 約130名程度

4.2 若手会員のための研究会・見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) 研究会と施設見学会 (東北支部主催第26回溶接接合研究会と共催)
場 所: AER 6階 情報・産学プラザ (研究会), JFE 条鋼株式会社仙台製造所 (見学会)
日 時: 平成26年7月18日 (金)
参加者: 48名 (研究会), 14名 (見学会)
講 演: 岡田 徹氏 (新日鉄住金株式会社), 小椋 智氏 (大阪大学), 高嶋 康人氏 (大阪大学), 廣畑 幹人氏 (名古屋大学)
- (2) 研究会と施設見学会 (1回目)
場 所: 株式会社東芝 京浜事業所
日 時: 平成26年11月7日 (金)
参加者: 18名
講 師: 三上 欣希氏 (大阪大学), 藤井 啓道氏 (東北大学)
- (3) 研究会と施設見学会 (2回目, 九州支部若手グループと共催)
場 所: 熊本大学 バルスパワー科学研究所
日 時: 平成26年12月19日 (金)
参加者: 28名
講 演: 外本 和幸氏 (熊本大学), 百田 寛氏 (熊本県産業技術センター), 尾崎 仁志氏 (三重大学), 高嶋 康人氏 (大阪大学)

4.3 若手会員のための勉強会 (WELNET 勉強会)

- (1) 第1回勉強会

日 時: 平成26年4月24日 (木) 13:00~16:40
場 所: 東京ビッグサイト会議棟 6階604会議室
話題提供者: 高嶋 康人氏 (大阪大学), 廣畑 幹人氏 (名古屋大学)

出 席: 14名

- (2) 第2回勉強会

日 時: 平成26年7月19日 (土) 9:00~11:40
場 所: 東北大学会議室
話題提供者: 岡野 成威氏 (大阪大学), 門井 浩太 (広島大学)

出 席: 9名

- (3) 第3回勉強会

日 時: 平成26年11月7日 (金) 10:30~12:00
場 所: 大田ビジネスコミュニティセンター OBC
話題提供者: 松本 直幸氏 (株式会社 IHI)

出 席: 11名

4.4 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員会、イブニングフォーラム、シンポジウムの報告等を掲載した。
- (2) 溶接学会誌の「スポットライト—若手の特集記事—」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を6件、「じょうほう通」を2件掲載した。また、特集記事「固相接合プロセスにおけるキーポイント」の編集にあたり若手委員として協力した。
- (3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。
- (4) メーリングリスト (E-mail) による情報交換を促進した。有効登録者数約 240 名 (平成27年2月28日現在) E-mail投稿数約 90 通 (平成26年3月1日から平成27年2月28日まで)

4.5 若手会員の会運営委員会

計2回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。

- (1) 第50回運営委員会

日 時: 平成26年4月23日 (水) 12:00~13:00
場 所: 東京ビッグサイト会議棟 6階604会議室 (春季全国大会開催会場)

出 席: 22名 (委任12名)

- (2) 第51回運営委員会

日 時: 平成26年9月11日 (木) 12:00~13:00
場 所: 黒部市宇奈月国際会館「セレネ」3階 会議室 B (秋季全国大会開催会場)

出 席: 24名 (委任13名)

5. その他の諸会合

支部長連絡会議	2
名誉員推薦審査委員会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞・ポスター発表賞審査委員会	1
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	1
溶接学会ベストオーサー賞	1
溶接学会技術貢献賞審査委員会	1
溶接学会フェロー選考委員会	1

6. 会 勢

会員数 (平成27年2月末現在)

賛助員		個人会員							団体員	
会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生会員	合計	員数	口数	
349	827	34	70	10	2,364	208	2,686	31	31	